

平成26年度事務事業評価シート

◎基本情報

事務事業名	避難困難地域対策事業		担当部署	企画総務部 危機管理局 危機管理課	
総合計画体系			根拠法令 計画など	事業期間	開始 平成 25 年度
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり			
政策(中項目)	1	安心して暮らせるまち なると	事業期間	終期	~平成28年度
(小項目)		0			
施策	01	災害に負けないまちづくりの推進			
基本事業	3	防災施設・資機材等の整備			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 避難困難地域住民						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	地域の緊急避難場所として津波避難施設を設置し、津波発生時に安全かつ迅速に避難することにより、津波から命を守る。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	単位
		津波避難施設の建設			候補地、規模等の検討	基本・実施設計業務の発注	工事の発注	工事の完成

◎実施結果(DO)

事業実施内容	25年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	津波避難計画の見直しを通じて、避難困難地域の抽出を行うとともに、避難困難地域における避難施設の必要性について検討し、施設設置場所候補地の選定、津波避難施設案の比較検討を行った。					
事業実施手法		<input type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他					
指標名		24年度実績	25年度実績	26年度目標	27年度目標	28年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	地元関係団体等との協議					
	2						
成果指標 対象にどのような効果があつたか示す指標	津波避難施設整備			-	-	-	
	目標達成率(実績/目標)				-	-	-

コスト分析		24年度実績	25年度実績	26年度	27年度	28年度	単位	
事業費	(財源内訳の合計)	0	1,995	24,000	-	-	千円	
	財源内訳	国	0	0	0	0		0
		県	0	0	0	0		0
		地方債	0	0	0	0		0
		その他	0	0	0	0		0
		一般財源	0	1,995	24,000	0		0
事業にかかる人件費 (人件費内訳の合計)		0	0	0	-	-	人	
人件費内訳	正規職員(6,517千円/人)							
	臨時職員等(2,012千円/人)							
総事業費 (事業費と事業にかかる人件費の合計)		0	1,995	24,000	-	-	千円	

【事務事業名：避難困難地域対策事業】

◎平成26年の実施状況(DO)

現在の実施状況	里浦南部地区における津波避難施設建設に係る地質調査及び基本・実施設計を行う。
---------	--

◎項目別評価(CHECK)

事務事業の評価	1.必要性の評価			理由等所見欄
	8	<input checked="" type="checkbox"/>	① 廃止した場合に支障が出る。	津波から命を守るために必要な事業である。
		<input checked="" type="checkbox"/>	② 施策 災害に負けないまちづくりの推進 の達成につながる事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	③ 税金で実施するにふさわしい事業で、市民への説明責任も果たせる。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	④ 市民の基本的な生活の維持・確保に必要不可欠な事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	⑤ 行政内部の管理上必要不可欠な事業である。	
	/10	<input type="checkbox"/>	⑥ 法令により実施することが義務づけられている事業である。	
	2.有効性の評価			理由等所見欄
	6	<input checked="" type="checkbox"/>	① 市民生活上の課題解決に貢献している。	津波から命を守るために最も有効な事業である。
		<input checked="" type="checkbox"/>	② 行政内部の管理上の課題解決に貢献している。	
<input checked="" type="checkbox"/>		③ 事業目標が達成できるような事業内容になっている。		
<input checked="" type="checkbox"/>		④ 事業対象は適切である。		
<input type="checkbox"/>		⑤ 成果目標が達成され、市民に具体的に説明できるような効果があがっている。		
/10	<input type="checkbox"/>	⑥ 現在の事業費で、事業の見直しによる成果向上の余地はない。		
3.効率性の評価			理由等所見欄	
6	<input checked="" type="checkbox"/>	① 事業実施手法は適切である。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	② 事業費を削減する余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	③ 作業手順の改善などによる人件費削減の余地はない。		
	<input type="checkbox"/>	④ 受益者負担や補助金の割合に問題はない。		
	<input type="checkbox"/>	⑤ 効率性向上の余地はない。		
/10	<input type="checkbox"/>			

◎今後の方向性(ACTION)

課題					
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓「廃止」・「要改善」・「拡充」の場合は以下の欄に記入してください。					
今後の改革案	実施予定時期	<input type="text"/> <input type="text"/>			
	どのように改革するのか				